

金亀会報

彦根東高校創立150周年記念特別号

創立150周年まで“あと1年” 記念事業がいよいよスタート



150周年
HP

令和8年（2026年）に
創立150周年を迎えます

滋賀県立彦根東高等学校

明治・大正・昭和・平成・令和 どの時代も挑戦し続ける学校



赤鬼魂の継承

彦根東高は、彦根城の中にあり、落ち着いた学びの環境が特色です。井伊家、彦根藩の先駆者精神である“赤鬼魂”をモットーに挑戦し続け、決して、歴史と伝統に胡坐をかくことなく、どの時代も生徒と教職員が共に力を合わせて、学校を創り上げています。



県内各地から 多様な生徒が集まり学ぶ

2006年（H18年）に全県一学区制が実施されて以来、今では滋賀県内にある105校の中学校のうち約80校から生徒が集まっています。これは県内最多。彦根東高に魅力を感じ、県内各地から生徒が通っています。



2024年（R6年）の
出身中学校市町別
生徒数

彦根市	約270人	米原市	60人
長浜市	170人	蒲生・愛知・犬上郡	30人
東近江市	110人	大津・草津・守山・栗東・野洲市	160人
近江八幡市	110人	甲賀・湖南・高島市・国立・私立等	50人

学びの特色

国の指定校になり
グローバルに活躍できる
人材を育成しています

国指定校	SSH(スーパーサイエンスハイスクール) 指定校	2004~ (18年間)
	WWL(ワールド・ワイド・ラーニング) コンソーシアム 構築支援事業のカリキュラム開発拠点校	2022~ (3年間)
	DX(デジタルトランスフォーメーション) ハイスクール	2024~



大切な自学自習



伝統の廊下学習

Challenge チャレンジ



Global グローバル



積極的な国際交流



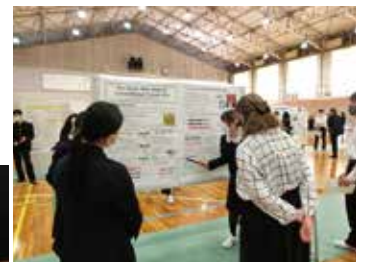
学び合い・高め合う



企業や大学で高度な学びに挑戦



Science サイエンス



Innovation イノベーション



加速するDX化



説明する力を養成



「先輩方の生き方」から学ぶ講座



Leadership リーダーシップ



完全独立46席 自習室



県下有数の蔵書 図書室



高い音響効果 多目的室



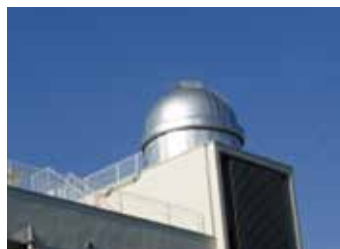
90名収容 特別講義室



憩いのスペース 中庭



学習効果の高い電子黒板



稀少な天体観測ドーム



2階建ての部室棟



📍 現在の彦根東高 📍



近隣施設も充実



平和堂HATOスタジアム



金亀公園多目的競技場



プロシードアリーナ彦根



HPLベースボールパーク

Googleマップの
360° ビューで
校内を公開



中庭できれいに色づく大銀杏

最大のイベント～とうきさい東鬼祭～ (6月)

- 学年縦割りの団を編成。文化部発表や有志発表など、生徒会執行部・団長による楽しい企画・運営により、思いっきり楽しめます。
- 東鬼祭では準備期間も含めて個々に成長する場面が随所であり、生徒が**自立する力、協働する力、創造する力**を身につけることを最優先しています。



全校生徒で結団式



1年生の合唱



2年生のソーラン節



3年生の演劇



長浜バイオ大学ドームや学校での体育祭



有志による発表



文化部の成果発表

グローバルな視野を広げる修学旅行 (11月)

- 国際性の涵養、異文化理解などを目的に、2006年からシンガポール、グアム、台湾など海外修学旅行を開始。
- 現地高校生との学校交流や大学生との市内観光などを実施。
- コロナ禍においても、長崎・福岡で、外国人留学生と観光コースを巡り、国際交流を深めています。



現地高校生と台湾茶で交流



あかおにはい 赤鬼杯 (12月)

タイピング、写真、囲碁、クイズ、効き茶、卓球など、様々な種目のクラス対抗戦。

球技大会 (3月)

バスケやバレーなどの球技だけではなく、カラムやポッチャなどでも競う。



現地大学生と市内観光





青春をかけて たたただ夢中に ～部活動～

◆運動部 (13)

- 野球 (男) 陸上競技
- バレーボール (男女)
- バスケットボール (男女)
- バドミントン (男女)
- 水泳 ハンドボール (男)
- 卓球 ボート
- ソフトテニス (男女)
- 剣道 サッカー (男) 弓道

◆文化部 (12)

- 新聞 GS (物理・化学・生物・地学・数学・社会科学)
- ELC (英語) 吹奏楽
- 茶道 文芸 美術 箏曲
- 囲碁 将棋 料理 演劇

◆同好会・サークル (2)

- クイズ研究会 (同好会)
- 競技かるたサークル

(令和6年12月現在)

OBの活躍 (指導者として)

東高での3年間は、その後の私の人生に大きな影響を与えました。中学校時代の私は陸上競技では県大会でも入賞できないレベルの選手でした。東高では同じような志を持った先輩や同級生に囲まれ、勉強も部活動も創意工夫して取り組んだ日々が今では懐かしいです。

経歴：彦根東高校 - 早稲田大学 - エスピー食品株式会社 - 上武大学ビジネス情報学部准教授/駅伝部監督 - GMOインターネットグループ監督 - 早稲田大学競走部駅伝監督 (現職)

競技歴：アトランタ五輪 陸上競技10000m日本代表
シドニー五輪 陸上競技5000m・10000m日本代表
アテネ世界陸上 マラソン日本代表



花田勝彦さん(東38回)



OBの活躍 (選手として)

令和6年11月、社会人野球日本選手権大会において、増居翔太さんが所属するトヨタ自動車 が優勝、増居さんは最高殊勲選手賞 (MVP) を受賞。

彦根東高卒業後、慶應義塾大学に進学。1年から野球部で活躍。東京六大学野球でベストナインや全国大学野球選手権大会で優勝、最優秀投手賞を受賞するなど活躍。2025年はトヨタ自動車で3年目となり、活躍が大いに期待される。

東高では、周りのみんなが頑張っているから自ずと頑張ることができました。一人では絶対頑張れなかったと思います。今の私を形づくっているのは、間違いなく東高での3年間の積み上げがあったからだと思います。



増居翔太さん(東67回)



次の一手、熟考・決断



しとやかに、優雅に



高度な英語ディベート



新たなアイデアで商品開発



どの部活動も、
豊かな人間形成を目的として
仲間と協力しながら、
時間を有効活用し
日々の練習に励んでいます



楽しい創作活動



大切な現地での取材活動



面白い探究活動



平成25年に完成した木造校舎は滋賀県で育ったヒノキやスギを使用しています

ロゴマーク決定!!

在校生、卒業生、保護者の多くの方々の応募の中から、川崎由美子さん（保護者）が提案したロゴマークが採用されました。



赤鬼魂の「先駆者精神」、「先頭に立ち活躍」、「新分野を切り開く」、「何事にも屈しないチャレンジ精神」から、熱く躍動的であることをイメージできるように赤を基調としました。また、もしも、目標を見失いそうになってしまったら、

そっと「赤鬼魂」を傍らに置き、安心して心と身体（からだ）を休めることもできる東高であっていただきたいと考えました。赤鬼魂が「熱く燃える赤」なら、こちらは「温かさと優しさの赤」です。赤を基調にしたもう一つの理由です。

そして、素晴らしい歴史と伝統を築いてこられた方々へ敬意を表して歴代の校章を、また、彦根東高校のシンボルである銀杏の葉をあしらいました。誰もが夢と志をもち、新しい世界に向かっていけるよう、現在の校章は大きく輝いて見えるようにしました。

これからも、彦根東高校に携わるすべての物事が円満であること、彦根東高校でのよき出逢いが増え、縁がさらにつながっていくようお願いを込めて、円を多く使用したデザインにしました。

記念誌への寄稿のお願い

- 卒業生からのメッセージ、新聞部の記事や写真等を多く取り入れた記念誌を制作します。
- 全日制・定時制の各年度の卒業生の方々に寄稿をお願いします。
- すでに、理事・幹事等や金亀会役員の方々に、執筆者を報告いただき、また学校からも依頼をしています。

執筆者の報告 令和7年（2025年）3月31日まで
原稿の締切 令和7年（2025年）6月30日まで

◆掲載内容（予定）

- ①題名、②氏名、③卒業年、④経歴

◆提供していただきたいもの

- ①1,000～1,500字程度 of 原稿（高校時代・現在のこと）
②関連する写真画像や絵 1～2枚（省略でも可）
③本人の写真（現在と高校時代）各1枚（省略でも可）



ようこそ先輩!

田原 総一郎さん 母校で講演



令和6年10月28日(月)に、創立150周年記念イベントとして、本校OBの田原 総一郎さん（東1回）を講師にお招きし特別講演会を開催しました。衆議院議員選挙の翌日ということもあり、話題は国政や安全保障の問題から教育の重要性など多岐に渡り、とても90歳には思えない力強い、説得力のあるお話をたくさん伺うことができました。「正解を追い求めるのではなく、答えのない問題に取り組むことが大切だ」「改革とは過去を否定すること。それが可能なのは君たち若い世代だ」など、激励をいただきました。



動画はこちら

高校時代、先生に「高校は大学受験のための詰め込みばかりでつまらない。そもそも、なぜ大学に行かないといけないのか、生きるとはどういうことなのか」と尋ねると、先生が若い哲学者を紹介してくれたり、泊まりがけで先生も一緒に寺に訪問して、なぜ人間は宗教を求めるのか、という説明を受けたりして、とても素晴らしい青春時代でした。



150周年記念事業の募金活動

募金目標額 1億円

母校は令和8年に創立150周年と記念すべき節目を迎えます。これもひとえに、永い伝統を築いてこられた同窓生の皆様のご尽力の賜と感謝いたします。

創立150周年を迎え、下記の様々な記念事業を行うにあたり、母校への思いを新たにしてお支援をいただきたく、募金をお願いを申しあげる次第です。

つきましては、出費多端の折、誠に恐縮ではございますが、何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

創立150周年記念事業実行委員会委員長
金亀会会長 上田 健一郎

150周年記念事業 「4本の柱」

① 学校設備の充実

- 体育館ステージ、校歌額などの新調
- 银杏会館の合宿可能施設への修繕
- 中庭のテーブルベンチセットの増設
- 史料館の再整備等

② 教育活動の支援

- 部活動支援（備品の整備・激励金）
- 海外交流事業支援
（オーストラリア、シンガポール等）
- 奨学制度

③ 記念誌などの制作

- 150年の歴史、現在の学校生活
- 卒業生各期の寄稿も掲載
- トートバッグなど、記念品の制作

④ 記念行事の実施

- 記念式典・記念講演・祝賀会
- ホームカミングデー
- 部活動ごとの対外記念試合



ステージ（イメージ）



憩いの場 テーブルベンチ



オーストラリア海外研修



創立140周年記念式典



校歌額（イメージ）



老朽化した银杏会館



部活動備品の整備



部活動 記念試合

会費と寄付について

種類	金 額		募集時期	収納口座
金亀会 会 費	【終身】	10,000円	随時	金亀会
	【年】	1,000円		
賛助会費	1口	5,000円（できれば2口以上）	R7年7月～	金亀会 奨学財団
150周年 寄付	【個人】	1口 5,000円（できれば2口以上）		
	【団体】	1口 10万円		

※金亀会の会費は、1度納めれば終わる終身会費10,000円、または毎年納める年会費1,000円のどちらかで納めることになっています。

※会費とは別に金亀会の活動に賛同し、ご寄付いただける場合は賛助会費として1口5,000円（できれば2口以上）を納めていただいております。

金亀会奨学財団の設立について

- 創立150周年記念事業の実施に向けて「一般財団法人金亀会奨学財団」を設立し、現在「**公益財団法人**」の認定に向けて手続きを進めています。
- さらに、この財団への寄付金について**税額控除制度が適用される対象法人**になるために、上記賛助会費を同財団への寄付として受け入れることにしました。

150周年の寄付のお願い（令和7年7月スタート）

- 正式な依頼は、趣意書や振込用紙などとともに後日発送いたします。
- 個人は1口5,000円、できれば2口以上のご協力をお願いします。
- 法人・団体は1口10万円からお願いしております。
- 個人で2口以上ご寄附いただいた方、法人・団体には、**『150周年記念誌』を進呈**いたします。



公益法人への寄付に関する税制優遇について

①公益財団法人になると・・・

◆所得控除が適用される（R7年4月予定）

[所得金額－（寄付額－2,000円）×所得税率＝税額] ※所得500万円の税率20%の場合

所得500万円で、**1万円を寄付**したときの節税額は**1,600円**

所得500万円で、**10万円を寄付**したときの節税額は**19,600円**

②税額控除制度が適用される対象法人になると・・・

◆税額控除が適用される（R7年7月予定）※他への寄付金がない方の一例

[所得金額×所得税率－（寄付額－2,000円）×40%＝税額] ※所得500万円の税率20%の場合

所得500万円で、**1万円を寄付**したときの節税額は**3,200円**

所得500万円で、**10万円を寄付**したときの節税額は**39,200円**

※上記の①②いずれも控除を受けるためには、確定申告時に寄付金領収書や税額控除に係る証明書等の添付が必要になります。

寄付に関する詳しいご案内は金亀会ホームページに掲載してまいります。



寄付に関するQ&A



Q 寄付金の支払い方法にはどのような方法がありますか？

A 従来の「振込用紙による金融機関でのご寄付」や「現金を持参していただくご寄付」に加えて、「クレジット決済」や「インターネット」を活用した方法などを準備・検討しております。令和7年7月の寄付金をお願いする時期までに趣意書などともに改めてお知らせいたします。

Q 過去の寄付は何に使われましたか？

A 卒業50周年記念寄付や納入いただいた賛助会費・同窓会費などで、個人用ロッカーや自習室整備、体育館看板昇降機、部活動用具、書画カメラ、マグネット型スクリーン、電子黒板、テント、天体ドーム、図書館用机・イス、近畿・全国大会出場部活動への激励金など、現役生徒の学校生活に欠かせないものをご購入させていただいております。これまでいただいた多大なるご支援について、心よりお礼を申し上げます。



個人ロッカー



部活動用具



テント



自習室

記念試合

- 令和7年度から令和8年度にかけて、各部が対外記念試合等を実施します。
- たくさんのOB・OGの方々にも観戦していただきたいと考えています。
- 開催が決まりましたら、各部顧問からホームページ等を通じてご案内します。



ホームカミングデー

- 日時 令和8年8月23日（日）
- 場所 彦根東高校
- 内容
 - ・校舎を開放、公開します。
 - ・部活動の見学や展示発表など、盛りだくさんの内容でお出迎えします。



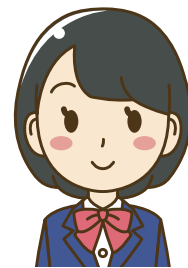
たくさんの先輩方のご来校をお待ちしております。開催が近づきましたらホームページで改めてご案内します。





創立150周年記念式典

- 日 時 令和8年10月11日 (日)
- 場 所 ひこね市文化プラザ
- 記念式典、記念講演
講師 居松 秀浩 氏 (東38回)



講師プロフィール

ゴールドマン・サックス証券代表取締役社長
彦根東高校—京都大学工学部—京都大学院工学系研究科修了。
ゴールドマン・サックス証券会社に入社。一貫してマクロ・トレーディング業務に携わる。日本人初の現役グローバル金利トレーディング責任者などを経て、現職。

創立150周年記念事業等実行委員会



1888年
(明治21)



1897年
(明治30)



1905年
(明治38)



1948年
(昭和23)



1949年
(昭和24)